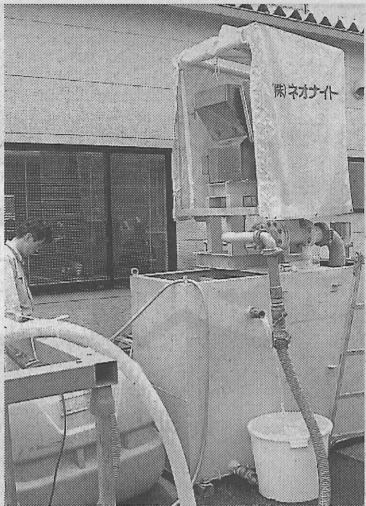


ストロンチウム効率除染

ネオナイト開発 福島で工場生産

汚水、汚泥や土壌の浄化処理を手掛けるネオナイト(松江市、寺山文久社長)は放射性ストロンチウムに有効な除染剤を開発、今月末にも発売する。島根県内で採石される天然鉱物で、放射性セシウムの除染に使われているゼオライトを主原料に化学的に生成した薬品で、高い除染効果が確認できたという。東日本大震災による原子力発電所の事故に見舞われた福島県などでの除染用に需要を見込む。



同社では昨年来、福島県での放射性セシウムの除染にゼオライトを原料とした除染剤「ネオナイト」を供給してきた。セシウムの除染では企業な

移動式の小型プラントを使い除染サービスもする(松江市のネオナイト)

どの取り組みが広がっているが、ストロンチウムの除染では有効な除染剤や除染方法の開発がまだ進んでいないという。

従来製品の「ネオナイト」ではストロンチウムの除染効果は50%程度だったが、ゼオライトに別の鉱物を加えて化学的に生成し、今回完成したストロンチウム用除染剤「ネオナイトsr」は除染率が99・99%という高い効果が確認できたとしている。販売価格は20キロ入りで1袋4万円(税

抜き)。

除染方法は、放射性ストロンチウムに汚染された水に粉状の除染剤を混ぜることでストロンチウムを吸着、沈殿し、水と分離することができるとい

除染剤単独での販売のほか、同社製の水処理用プラントを現地へ持ち込み

み除染のサービスもする。新しいストロンチウム除染剤の販売収入とプラント利用料収入の合計で2013年6月期に約3億4000万円、14年6月期に同8億8000万円の収入を目指す。

ストロンチウムはセシウムとともに原発の燃料に使われるウランの核分裂反

応で生成される放射性物質。体内に摂取されると骨に蓄積され、放射線を出し続けることされ、深刻な内部被曝(ひばく)の可能性が指摘されている。

ネオナイトは松江市内の本社敷地内に除染剤製造工場を持つているが、昨年12月に福島県で地元

の建設会社と共同で除染剤を生産するために「福島いわき工場」を立ち上げた。

今夏ごろから除染剤の需要が本格化するとされ、セシウム用除染剤を月間5ト、新しいストロンチウム用除染剤を同5トペースで現地生産する計画。同工場は年内にも

合計月30ト規模に生産能力を増強する予定だ。

鶏卵産地市況

18日		キロ・円	
岡山(岡山鶏卵)		卸	
標準		卸	
L	171	191	
M	181	201	
MS	186	206	
◇広島			
(広島卸売市場)		015	

福島県での除染作業はこれまで除染法の実証試験などが中心で、汚染された土壌や木材などの仮置き場がなかなか決まらな

「夏ごろから各地区の自治体主導で本格化する」(寺山社長)とみている。

千葉県や茨城県でも局所的に高い放射線量を示す「ホットスポット」の除染向けに今後、除染剤の需要が高まると予想している。